

平成棚田(富士宮市)

富士宮市原地域にある「白糸の里」は、古来より西方の天子ヶ岳と東方の富士山からの伏流水を水源としています。室町時代に富士山西南の火山灰地の山麓を開墾し、原川と呼ばれる用水路を共同で掘って米づくりを始めた水田地帯で、等高線沿いに小さな棚田がいくつも連なっていました。また、天明元年(1781年)に富士山中において野生の三椏が発見され、それを栽培・加工して作られた「駿河半紙(三椏和紙)」発祥の地であり、紙幣の原料にもなりました。戦後、工業化が進み近代化する中、離農する農家が 증가しましたが、昭和62年から約20年の月日をかけて、県営ほ場整備事業「白糸地区」が実施されたことで、米の収量が従前は10アールあたり5俵であったものが8俵と増加し、用水のパイプライン化や農作業の機械化に伴い営農労力が節減され、近代的な農業を行うことが可能となりました。今では「平成棚田」と名付けた水田が一面に広がっており、多くのイベントも行われ都市住民との交流も活発に行われています。



地域で取り組まれている保全活動

地域全体を“きれい”にしたいという思いから、地域一体となって農道周辺の草刈りなどの維持活動やコスモス等の植栽を行っており、住民の交流の場の1つとなっています。

また「白糸コシヒカリ」のブランド化に取り組み、多くの人に広めるために、田植えと稲刈りの手作業と機械作業が体験できるイベントを開催しています。



イベント情報

白糸の里では四季を通じて様々な催しが行われ、春には景観を活用した棚田ウォーキング、夏には原文珠祭典で大迫力の手筒花火。そして、2月23日(富士山の日)に“富士山白糸平成棚田祭り”を開催。

富士山の標高にちなみ3776個の竹灯笼を作成し、平成棚田に幻想的な風景を作り出します。



アクセス情報

住所：静岡県富士宮市原

公共交通機関

JR身延線・富士宮駅下車。富士急静岡バスで白糸の滝方面行き2番乗り場より30分。停留所は「白糸の滝」から「白糸保育園」の間。

自動車

新東名高速・新富士ICまたは東名高速・富士IC→西富士道路を富士宮市→そのまま139号線を山梨方面→上井出ICで降り白糸の滝へ(新富士ICから40分)【中央道から】河口湖IC→139号線を富士宮市方面へ→白糸の滝へ(河口湖ICから40分)

年間イベント・行事

5月	田植え農業体験
5月	平成棚田ウォーキング大会
8月19日	原文珠祭典
9月	稲刈り農業体験
2月23日	富士山白糸平成棚田祭り

一押し情報

白糸庵

Tel. 0544-54-3050

蕎麦やうどんの他にも、季節の手作り惣菜が人気。富士山絶景ポイント。

白糸の滝観光案内所

Tel. 0544-54-2880

案内所、トイレ、自販機を備えた屋内施設。

白糸自然公園

Tel. 0544-22-1168

富士山から駿河湾まで一望でき、広い園内では四季折々の草花を楽しめる。

